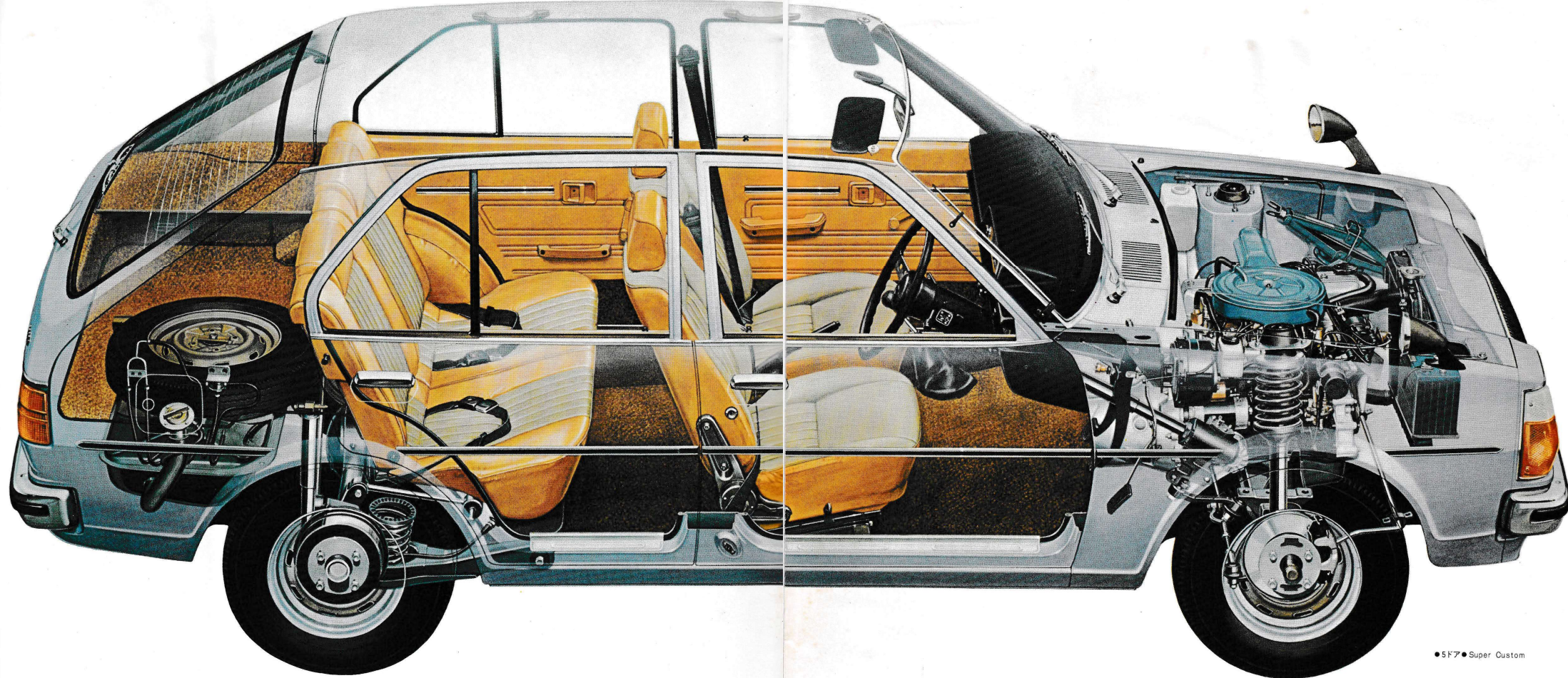


ない所もご覧に入れます。大きな安心をお届けするために、多くの技術を盛りこみました。



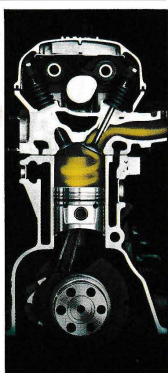
●5ドア●Super Custom

希薄燃焼型エンジンで、燃費性能を両立させました。

エンジンは「マツダ希薄燃焼方式」を採用したOHCタイプです。独特な燃焼室の形状により、混合ガスに強い渦流を発生させます。燃えやすいガスを作るのです。点火系統はフルトランジスタ式のHEI（高エネルギー点火システム）を採用し、強力な火花をとばします。この2つの組合わせて、薄いガソリンをスムーズに燃焼させることに成功したのです。だから、点火のための副燃焼室は必要ありません。薄いガソリンを使って燃費を良くしながら、性能や運転性を向上させることができました。具体的な数字でお確かめください。ファミリアは、これだけの大きさのクルマでこれだけの性能で、この燃費を誇ります。

■60km/h定地走行テスト値=23km/ℓ(5速)

■10モード(運輸省審査値)=14.5km/ℓ



スポーツ走行の実力も十分な高級メカニズムです。

ファミリアはファミリーカーです。でも、単に乗り心地が良いだけでなく、時にはひとみち当てて、全力疾走を楽しんでいただくための素質をも秘めています。例えばリアサスペンションはあのコスモと同じ5リンク方式です。前後方向に4本、左右方向に1本、計5本のリンクで位置決めされた車輪は、ハードなコーナリングをもガッチリと受けとめます。ミッションもSuper Customに前進5段を用意。ブレーキはSuper CustomとGFにディスクを採用しました。ハンドルの応答性も確実にシャープな感覚です。空気力学的には、フロントのエアロダイナミックスボイラー、サイドのカーブドガラスが効果的。高速走行中の横風による影響を抑えています。どうぞ時に大胆に、ファミリアを走らせてください。



コンピューターを使って設計した頑丈なボディです。

「有限要素法によるマトリックス構造解析技術」なんて、難しい名前ですが、実際に中味も難しい技術です。ボディ全体またはその一部の強度を、設計図の段階で計算しようというのです。複雑なカタチをたくさんの三角形に分解します。写真のブラウン管に映っているのが、その一例です。次に外部からの力を与えます。もちろんコンピューターに、データとして、です。そうすると、どこの部分にどれだけの力が加わるか、強度は十分かどうか、がわかるのです。マツダが開発し、自動車技術会賞をいただいた新技術です。というわけで、ファミリアのボディは頑丈なもの。どこにも弱点がありません。いつまでも安心してお使いいただけます。安全性への配慮もボディのすみずみに、盛りこまれています。



サビの予防もファミリアの重要なポイントです。

ファミリアは、できるだけ長くお乗りいただきたいクルマです。節約という意味だけでなく、そのスタイルも、その機能も、数年先を見通して設計されているからです。そのために、いろいろな配慮をしています。なかでもサビを防ぐ心くばりは、入念そのもの。まずフェンダーなどサビやすい部分には、亜鉛鋼板を使用しています。ドアの内部やテールゲートには亜鉛ペイントを塗布しています。亜鉛はサビに強い金属なのです。溶接部の段差は塗膜が薄くなりがちなので充填材で埋めています。そして塗料は従来よりも厚塗りのできる新しいタイプを開発しました。そのうえで、一台一台の塗膜の厚さを、厳重にチェックしています。いわばクラフトマンシップ。人間の目と手で、その心で、仕上げています。

